

産業廃棄物処理計画書

29年6月20日

都道府県知事  
(市長)

殿

〒879-0721 大分県豊後高田市加礼川9番地

中野養豚株式会社

提出者

代表取締役 中野 百合夫

住所

TEL・FAX 0978-27-3608

氏名

農場 0978-27-3181

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中野養豚株式会社
事業場の所在地	豊後高田市梅ノ木ハケ迫
計画期間	<del>H29</del> 4.1 ~ 30.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 2500頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・動物のふん尿 (自ら堆肥化) ・動物の死体 (化成場の委託処理)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長  
廃棄物 処理方針、各種事項の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 ( 28 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	3400 t	0.65 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	3400 t	0.65 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ふん尿 死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1200 t t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ふん尿 死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1200 t t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 動物の死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t 0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2200 t 0 t
(これまでに実施した取組) 堆肥として 汚水処理		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t 0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2200 t 0 t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化 汚水処理		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（    28 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿                      動物の死体
	全処理委託量	0 t                      065 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t                      t
	再生利用業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場の委託処理している	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿      動物の死体
	全処理委託量	0 t      0.65t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t      0.65t
	再生利用業者への 処理委託量	t      t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t      t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t      t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場の委託処理 します	
※事務処理欄		